

みんなが主役 みんなで創ろう

明るく住みよいまち 夢の里 伊敷台

第1期（2020年度～2024年度）

地域コミュニティプラン 〔地域振興計画〕



伊敷台校区 夢の里まちづくり協議会

所在地 〒890 - 0007 鹿児島市伊敷台4丁目20番1号

電話・FAX 099 - 295 - 6877

E-mail yumenosatomachidukuri.ishikidai@purple.plala.or.jp

ホームページ <https://yumenosatoisikidai.jimdofree.com/>

目 次

1	設立経過及び設立趣旨……………	1
2	プラン策定のねらい……………	2
3	校区の概要……………	3
4	まちづくりの目標……………	4
5	組織構成及び各部会の主な活動内容……………	5
6	各部会の現状と課題・改善策……………	7
7	具体的な取組……………	13
8	資 料……………	17

(1) アンケート結果

【ア】 成人対象

【イ】 中学生対象（2年生）

【ウ】 小学生対象（5年生）

(2) プラン策定委員

(3) わたしたちの校区

1 設立経過及び設立趣旨

阪神大震災、東日本大震災および熊本地震の被害のすさまじさが報道された中で、地域住民の日常のお付き合いの絆が如何に大切なものであるかを改めて認識する評論がたくさん報道されてきました。

鹿児島市において、従来から組織されていた校区公民館運営審議会は、鹿児島市生涯学習課の支援を得て運営されてきました。活動内容はおのずから市教育委員会の指導による影響が少なからずありました。そこには地域の自治団体の自主的活動を活性化する目的があったにもかかわらず、必ずしもその目的は十分達成できていたとは言えないという反省が、先に述べた大きな地震災害が繰り返されたのちに出てきました。

このような反省に立って、鹿児島市は、共に助け合い活力のある地域づくりを推進するため、生涯学習課が管轄する「校区公民館運営審議会」に代わって、地域振興課を管轄課とする「地域コミュニティ協議会」の設立を全市にわたって進めてきました。これによって今後進展する少子高齢化を見据え、町内会等の地域コミュニティ組織が連携し、地域住民の自主的自治活動をさらに推進して、日常のお付き合いの絆をはぐくむことができるようにと期待しているところです。

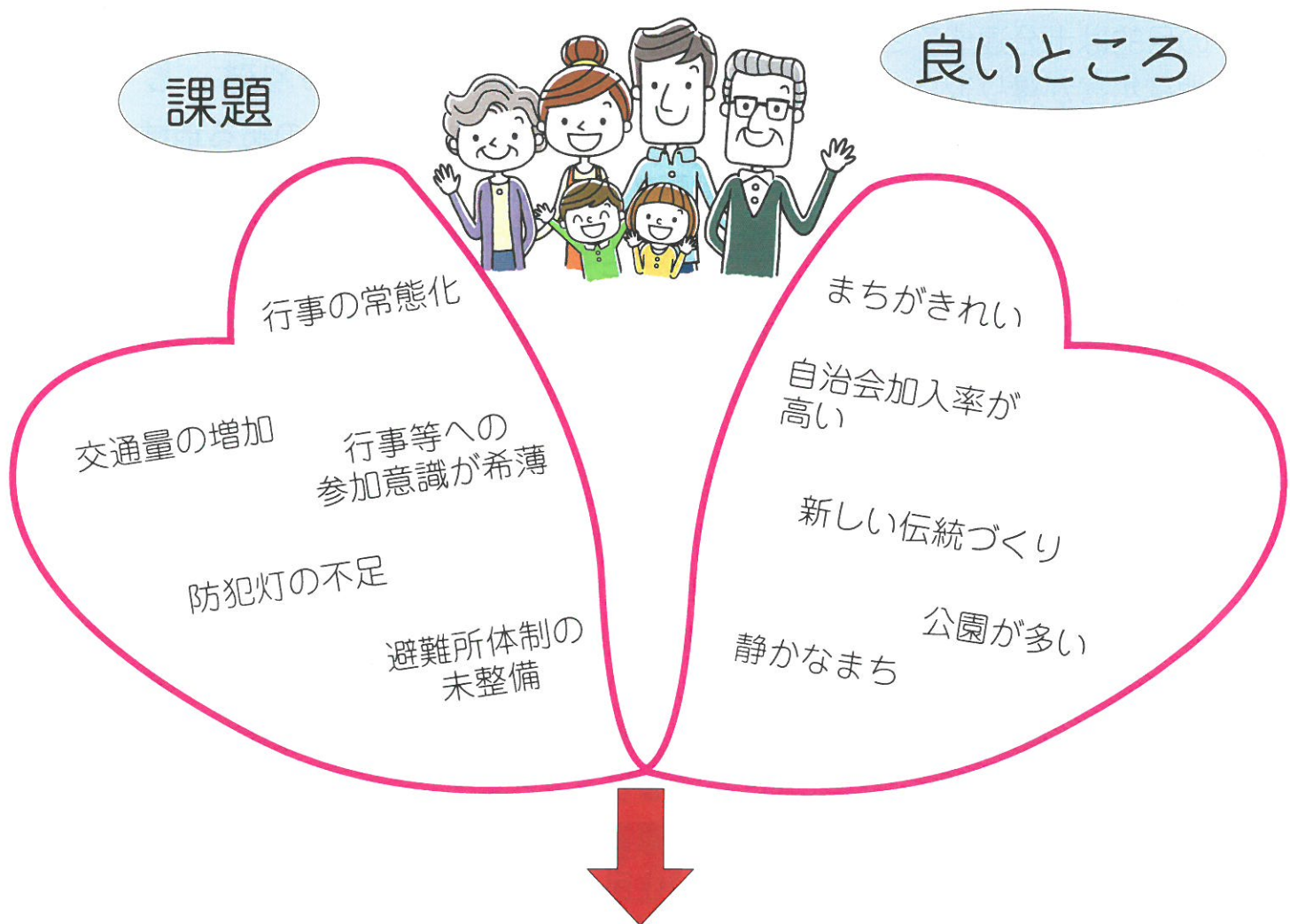
伊敷台校区においても平成27年9月29日から校区公民館運営審議会委員有志メンバーを中心に市の説明を受け新組織の設立を検討してきました。

伊敷ニュータウンが開発された当時、子育て世代が中心だった住民は、近年では高齢化や核家族化が進み、加えて住民ニーズの多様化など、私たちの生活を取り巻く環境も大きく変化しています。なかでも福祉や防災、独居老人の見守りなどが大きな課題となり、解決の糸口を見つけるために地域が一体となって取り組んでいかなければなりません。

そのために、これまで校区公民館運営審議会等が熱心に取り組んできた地域活動をもとに、新しい活動や地域住民の要望に耳を傾けながら、伊敷台小学校区の各種団体が連携協力して地域社会づくりに取り組み、人と人、人と地域との絆を深めながら、安心安全で快適な地域社会の実現のために、そうしてこのまちがわたしたちのふるさとになるように、「伊敷台校区夢の里まちづくり協議会」を設立しました。

2 プラン策定のねらい

「伊敷台校区夢の里まちづくり協議会」は、設立後校区公民館の活動を継承してまいりました。今後は伊敷台校区の抱える諸問題の解決に向けて、まちづくりの指針となる地域コミュニティプラン（2020年度から2024年度）を策定し活動するものです。



みんなが主役 みんなで創ろう
明るく住みよいまち 夢の里 伊敷台

3 校区の概要

鹿児島市の北西部に位置する伊敷台小学校区は、当時玉江小学校区だった日当平団地の一部と伊敷ニュータウンで構成されています。校区は造成から約27年の時を経て、円熟期を迎えています。東に桜島をのぞみ、自然豊かな環境で子どもたちはのびのびと育っており、この地を子供たちの「ふるさと」にしたいという地域住民の願いが、小学校校門の石碑「夢の里伊敷台」という言葉に込められています。

地域住民のふれあいは、校区公民館運営審議会の時代から盛んで、現在も「夢の里まちづくり協議会」を中心に青少年健全育成や地域づくりなどさまざまな活動を続けています。近年、少子高齢化や核家族化が進み地域の連帯感や相互支援の気持ちが薄れかけていますが、地域住民が一体となり「住みよいまち、子どもたちのふるさとになるまち」を目指し、取り組んでいます。

【2019年4月1日現在】

(1) 人 □ 男子 4,029人 女子 4,691人 合計 8,720人

(2) 世帯数 3,266世帯

町内会加入率 73.1%

(3) 高齢化率 17.6% (65歳以上)

(4) 関係小中学校 児童生徒数

伊敷台小学校 男子 303人 女子 240人 合計 543人

伊敷台中学校 男子 246人 女子 271人 合計 517人

(5) 主な施設

伊敷台福祉館 伊敷台郵便局 長寿あんしん相談センター伊敷台

鹿児島銀行伊敷ニュータウン出張所 大型店舗(Aコープ・ニシムタ)

4 まちづくりの目標

(1) まちづくりのスローガン

**みんなが主役 みんなで創ろう
明るく住みよいまち 夢の里 伊敷台**

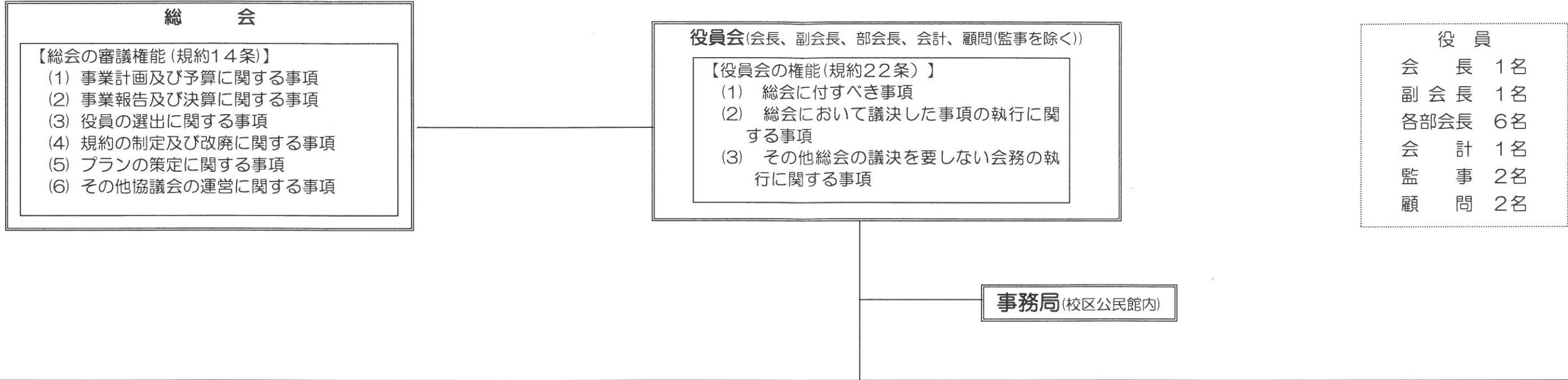
(2) 目指す将来像

地域住民が、安心安全に暮らせるように、お互いに信頼して助け合うとともに、子供たちがふるさとと感じてもらう校区、元気を感じる活力ある豊かな人間関係を築くことができる地域コミュニティを目指し、自助・共助・公助により連携し活動していくまちにしていきます。

(3) 運営方針

- ① 町内会をはじめとする校区内の各種団体と緊密な連携のもとに、地域住民の声を活動や運営に反映し、地域の課題解決を目指す。
- ② 役員会や部会での共通理解を深め役割分担を図り、活動を活性化する。
- ③ 地域住民の結集に努め、地域主体のまちづくりを進めるために情報発信（広報活動）に積極的に取り組む。
- ④ 校区公民館を住民交流の場として、ふるさと「夢の里 伊敷台」を目指す。

5 組織構成及び各部会の主な活動内容



部会名	総務部会	社会体育部会	福祉部会	青少年育成部会	社会教育部会	安心安全部会
活動方針	・各専門部や関係団体との連絡調整に努め、コミュニティ活動の円滑な運営に当たる。 ・活力のあるまちづくりのため、地域課題を的確にとらえ諸施策の積極的な企画運営や取組を推進する。	・スポーツ活動を通して地域住民の親睦と健康的な環境づくりに努める。	・少子高齢化の進展に伴い校区の全ての住民が健康で豊かな生活、思いやりのある行動、助け合う地域福祉社会の形成に努める。	・地域住民が協力のもと、家庭・学校・地域が一体になり時代を担う青少年の「ところとからだ」の健全育成に努める。	・校区内に生涯学習の輪を広げ、地域住民の学習意欲の向上と親睦を深める。 ・地域住民の芸術・文化活動に対する意識の高揚に努める。	・校区内の防犯・交通安全・環境美化に努める。 ・犯罪の未然防止や危険箇所の点検等を通し、住民の安心安全な暮らしを守ること努める。
主な活動内容	広報 クリーン伊敷台 会議の記録	ソフトバレーボール大会 ラジオ体操 走ろう会	異世代間のふれあい交流会等 ふれあい交流農業体験 グラウンド・ゴルフ大会 バス研修	立志のつどい スタンプラリー 愛のパトロール	文化祭 成人学級 教養講座(各種講習会、学習会等)	愛のパトロール 防災訓練 道路点検 危険箇所点検・地図作成
構成団体及び個人(部会員)	・各町内会 ・小・中学校長 ・伊敷台商店会	・各町内会 ・スポーツ推進委員 ・スポーツ少年団	・各町内会 ・民生委員・主任児童委員 ・校区社協	・各町内会 ・民生委員・主任児童委員 ・あいご会 ・小・中PTA ・スポーツ少年団	・各町内会 ・社会学級	・各町内会 ・交通安全協会 ・安心安全ネットワーク会議 ・地域安全モニター ・防犯パトロール隊 ・通学保護員 ・スクールゾーン委員会 ・伊敷台商店会

6 各部会の現状と課題・改善策

総務部会

現状と課題・改善策

【現状と課題】

- * 校区の住環境についてのアンケート結果では、住みやすいがほとんどであり、住環境については満足度が高い。
- * 近くに商業施設があり、買い物が便利である。
- * 「まちづくり協議会」を知らない人が多い。
- * 町が新しいため、伝統的な行事がない。
- * 「クリーン伊敷台」への参加率はアンケート結果では 60 パーセントである

【改善策】

- * 「まちづくり協議会」の活動について、よく知ってもらい、行事に参加してもらえようにする。
- * 「クリーン伊敷台」への参加者を増やす、また、小中学生の参加者を増やしきれいな街づくりの意識を高める。
- * 小中学校関連団体の協力をもらい、「クリーン伊敷台」への参加を増やす。
- * 広報紙を発行し、活動の様子や結果を広く住民に知ってもらう。
- * 行事への参加者を増やすため、各種団体との調整、各部会との意見交換を行う。
- * 環境美化・挨拶運動を推進し、町内会の活性化等に取り組む。



社会体育部会

現 状 と 課 題 ・ 改 善 策

【現状と課題】

- * 校区の社会体育活動として実施しているソフトバレーボール大会は、住民相互の親睦と健康づくりに資する活動として定着しており、今後も実施していく必要がある。
- * アンケート結果では、校区走ろう会は他の行事に比べ「参加したことがある」と答えた割合が低いので参加者を増やす必要がある。
- * アンケートの結果では、困っていること、不安なこととして、「健康維持」と答えた割合が最も高く、誰でもできる運動を広報紙で紹介するなど啓発を行う必要がある。

【改善策】

- * ソフトバレーボール大会を引き続き実施する。
- * 校区走ろう会の参加について、町内会等の広報紙で呼びかけるとともに、小学校の協力をもらって、参加者を増やすように努めていく。
- * ラジオ体操やウォーキングなど手軽にできる運動を広報紙で紹介する。
- * スポーツを活用した活動を支援する。



福祉部会

現 状 と 課 題 ・ 改 善 策

【現状と課題】

- * 伊敷台校区では高齢化率が年々高くなり、20%を超える町内会が複数あり、高齢者の健康維持や生活支援の活動が重要である。
- * アンケート結果では、健康・体力づくりのために「散歩・ウォーキング」が70%、「体操」が20%で、近所で行える運動が多い。
- * 日常生活や福祉のアンケート結果では、「健康維持」が35%、「介護」が17%で、健康面での不安を抱えている人が多い。
- * 福祉の活動のアンケート結果では、「健康・体力維持、転倒防止講座」が28%、「交流できるサロンの開設」が20%で、健康維持や交流を推進する事業への関心が高い。

【改善策】

- * 各町内会等に「高齢者部」などの高齢者の組織化を促進し、地域の高齢者間の交流が盛んになるようにする。
- * 鹿児島市と鹿児島大学で開発した「よかよか体操」は高齢者の膝痛予防・腰痛予防・肩痛予防に効果があるので、「よかよか元気クラブ」への組織化を勧めていく。
- * 健康維持と健康増進のための啓蒙活動や研修会の開催などを企画する。
- * 高齢者のスポーツとして「グラウンド・ゴルフ」などを推進する。
- * 高齢者の交流が盛んになるように、校区内の各種同好会の活動を支援する。
- * 異世代間の交流ができる事業を企画する。

青少年育成部会

現 状 と 課 題 ・ 改 善 策

【現状と課題】

- * アンケートの結果では、まちづくり協議会・町内会・スポーツ少年団等の各種行事に小学生8割、中学生9割が参加している。保護者の参加率も良い。
- * 近所の人に対しての挨拶は、小学生9割、中学生8割がしている。
- * あいご会行事については、中学生の参加が少ない。
- * 小学生は、塾や習い事・中学生は部活動・塾等があり保護者も働いているので全ての地域行事に参加するのは困難である。
- * 校区立志のつどい（中学2年生）の参加者は、生徒は多いが保護者は少ない。
- * 「愛のパトロール」により、公園やコンビニ等で夜間、小・中学生・高校生を見かけなくなった。
- * 校区内の危険箇所については、安心安全ネットワーク会議やスクールゾーン委員会で点検しているので改善されてきた。

【改善策】

- * 挨拶は、学校や地域の指導で浸透しているので引き続き挨拶運動を推進していく。
- * 行事を精選し、各種団体と連携し活動していく。
- * 中学生は、「夢の里伊敷台」の言葉・思いを9割以上が認識しているので、今後も継承していく。
- * 中学生のあいご会活動については、保護者も子どもも小学校までという意識がある。町内会等であいご会の意義を伝えて参加を促す。
- * 立志のつどい（中学2年生）は、生徒の認識も高く参加率も良いので今後も中学校や地域PTA 他各団体と連携し継続していく。保護者の参加については、文書等で呼びかける。
- * 「愛のパトロール」は、夜間の青少年行動の抑制になるので継続していく。

社会教育部会

現 状 と 課 題 ・ 改 善 策

【現状と課題】

- * 成人学級は開設されているが、女性学級がしばらく休止状態である。
- * 校区公民館を利用している学習活動が少なく、固定化している。
- * 学習意欲の高い住民は、校区外の施設等を利用したり、有料の教室に通っている。
- * 校区文化祭については、毎年盛大に開催され、伊敷台校区の代表的な行事となっている。しかし、出展者の減少がみられ、舞台出演者は固定化している。
- * 特技や資格等を持った人たちの情報が少ない。
- * アンケートの結果では、料理、英会話、郷土の歴史等を学びたいという学習意欲のある人が多い。

【改善策】

- * 生涯学習への理解を深める対策をたてる。
- * 社会学級の内容や運営を工夫する。
- * 社会学級のリーダーとなる人材を育成する。
- * 町内会単位で実施しにくい行事を、校区で開催できないか検討する。
- * 技能や知識を持った人材を発掘する。
- * 伊敷台福祉館等を利用する活動を企画する。
- * 文化祭については、内容を見直して、出展者、出演者の掘り起こしをする。



安心安全部会

現 状 と 課 題 ・ 改 善 策

【現状と課題】

- * 災害発生時に開設される避難所の運営体制が整備されていない。
- * 交通量が多いので通勤・通学時の事故等を未然に防止する方策の充実が望まれている。又、交通安全に対する住民の危機管理意識を高める方策の充実が望まれている。
- * 防犯灯のない箇所があり防犯上不安がある。

【改善策】

- * 災害時の緊急対応についての研修を実施する。
- * 防犯・防災の体制づくりと避難訓練を充実させる。
- * 交通安全対策は、警察・西地区交通安全協会と連携し安全対策を推進する。
- * 防犯灯の設置については、各町内会と検討する。
- * 夏・冬休み中の「愛のパトロール」運動実施の際は、広報紙等を通じて周知する。
- * 校区内の環境診断と危険箇所点検を定期的の実施し、危険箇所には表示板を設置する。



7 具体的な取組

※ 短期…毎年実施

中期…2～3年に1回実施

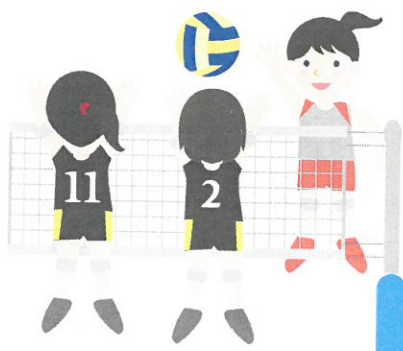
長期…5年以上の期間に1回実施

総務部会

番号	事業名	事業内容	事業のねらい	計 画		
				短期	中期	長期
1	校区内の美化活動	クリーン伊敷台運動	美化活動の徹底	○		
2	広報活動	広報紙の発行	地域住民の意識向上	○		
3	各部会との連携	合同部会の開催	行事等の精選	○		
4	町内会の活性化	交流会の開催	地域の活性化		○	
5						

社会体育部会

番号	事業名	事業内容	事業のねらい	計 画		
				短期	中期	長期
1	ソフトバレーボール大会	総参加	ふれあい交流親睦	○		
2	校区走ろう会	総参加	ふれあい交流親睦	○		
3	ラジオ体操	総参加	ふれあい交流親睦	○		
4						



福祉部会

番号	事業名	事業内容	事業のねらい	計 画		
				短期	中期	長期
1	高齢者の組織化の促進	町内会等が高齢者の部会を設ける	高齢者の活動	○		
2	「よかよか体操」の普及	町内会等に「よかよか体操」の普及を図る	健康増進	○		
3	研修会や講演会	健康や介護に関する研修会等を企画する	健康や介護に関する知識	○		
4	グラウンド・ゴルフ	グラウンド・ゴルフの普及を図る	健康増進	○		
5	異世代間の交流	世代間の交流を図る	異世代交流	○		
6	同好会の支援	同好会の交流を支援する	同好会の設立		○	
7						

青少年育成部会

番号	事業名	事業内容	事業のねらい	計 画		
				短期	中期	長期
1	立志のつどい	講演会等	青少年健全育成	○		
2	愛のパトロール	夜間補導	青少年指導	○		
3						



社会教育部会

番号	事業名	事業内容	事業のねらい	計 画		
				短期	中期	長期
1	校区文化祭	舞台・展示発表	住民同士の交流	○		
2	社会教育学級	成人学級・女性学級	住民同士の交流	○		
3	門松づくり	校門前の門松づくり	伝統継承	○		
4						



安心安全部会

番号	事業名	事業内容	事業のねらい	計 画		
				短期	中期	長期
1	環境点検	校区の店舗内等における児童の状況視察	住民の安心安全と青少年健全育成	○		
2	危険個所の点検	校区内の道路・公園等の危険個所及びスクールゾーンの点検	交通安全の推進・運転者と通行者のマナー育成	○		
3	愛のパトロール	児童生徒の行動を把握すると共に不審者の犯罪防止対策	住民の安心安全と青少年健全育成・不審者対策	○		
4	安心安全ネットワーク会議	まちづくり協議会合同部会員・交番・消防局分遣隊連絡会議	合同部会と交番・消防局分遣隊との情報共有	○		
5	災害時の防災研修	災害時における避難訓練・救命措置・講話	校区住民の安心安全のための避難訓練・救命・蘇生訓練	○		
6						



校区文化祭



ソフトバレーボール大会



立志のつどい



グラウンド・ゴルフ大会



農業体験

8 資 料

(1) アンケート結果

【ア】 成人対象

【イ】 中学生対象（2年生）

【ウ】 小学生対象（5年生）

(2) プラン策定委員

(3) わたしたちの校区

(1) アンケート結果

【ア】 成人対象

アンケート調査の概要

1. 調査の目的

令和元年度からスタートする「伊敷台校区夢の里まちづくり協議会」の準備活動として、校区民の現状と課題等を知り、その結果を生かすための実態調査

2. 調査内容

- | | |
|---------------------|----|
| ① あなた自身の件について | 2問 |
| ② 「夢の里伊敷台」について | 1問 |
| ③ 校区の住居環境について | 3問 |
| ④ 安心・安全について | 2問 |
| ⑤ 青少年健全育成について | 3問 |
| ⑥ 生涯学習について | 2問 |
| ⑦ 健康・体力について | 1問 |
| ⑧ 福祉の町について | 2問 |
| ⑨ 伊敷台校区の町について | 1問 |
| ⑩ 「夢の里まちづくり協議会」について | 1問 |
| ⑪ 行事への参加について | 1問 |
| ⑫ 参加してみたい行事について | 1問 |

3. 調査対象

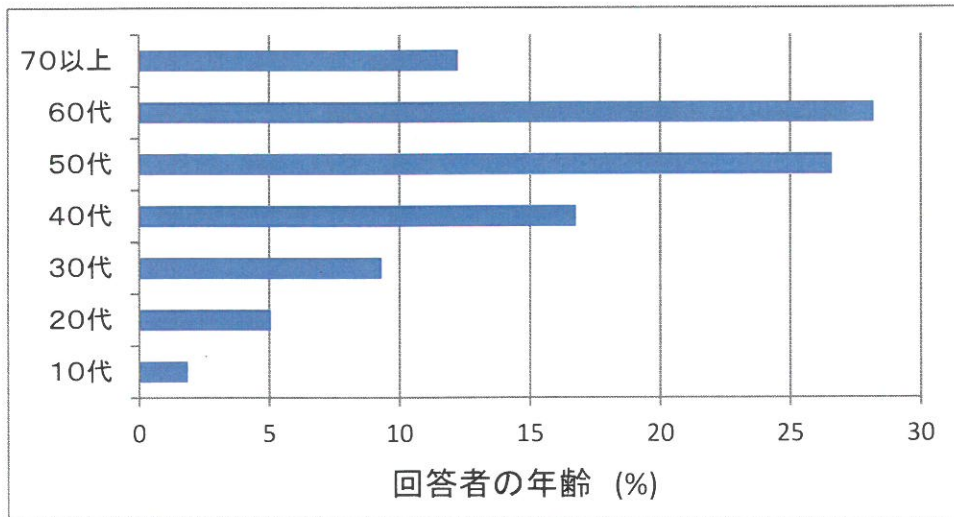
- | | |
|---------|--------------|
| ① 調査地域 | 伊敷台全部と日当平親睦会 |
| ② 調査対象者 | 10代から80代まで |
| ③ 調査期間 | 令和元年7月から8月まで |
| ④ 回収率 | |

	南	西	北	中央	おとめ座	ノースリバー	グリーンヒルズ
対象者	50人	43人	44人	64人	38人	10人	38人
回収数	45人	41人	40人	62人	34人	10人	29人
	東	ひがし台	日当平親睦会	玉里台			
対象者	20人	10人	22人	65人		計	404人
回収数	20人	10人	22人	61人		回収数	374人
						回収率	92.5%

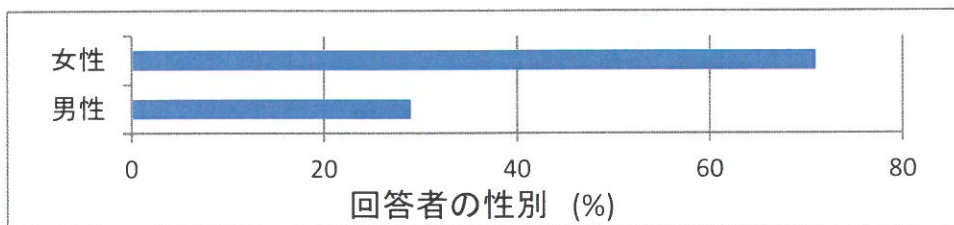
成人のアンケートの結果

1 あなた自身のことについて

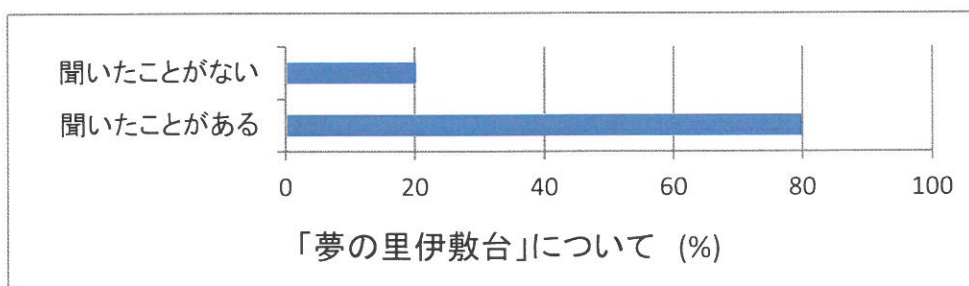
(1) 年齢



(2) 性別

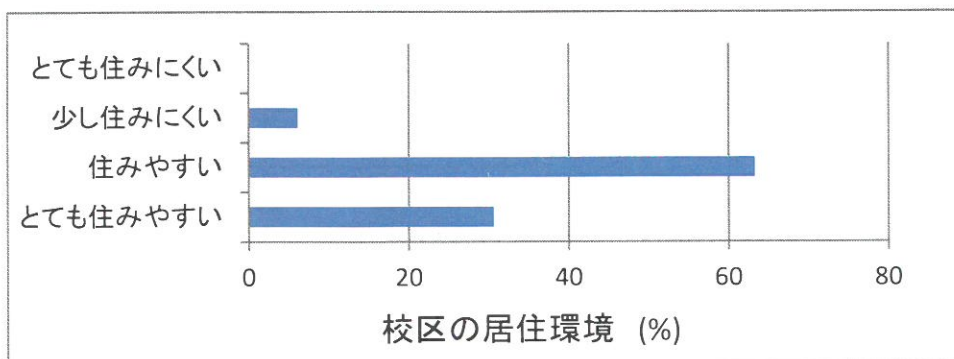


2 「夢の里伊敷台」という言葉を聞いたことがありますか。

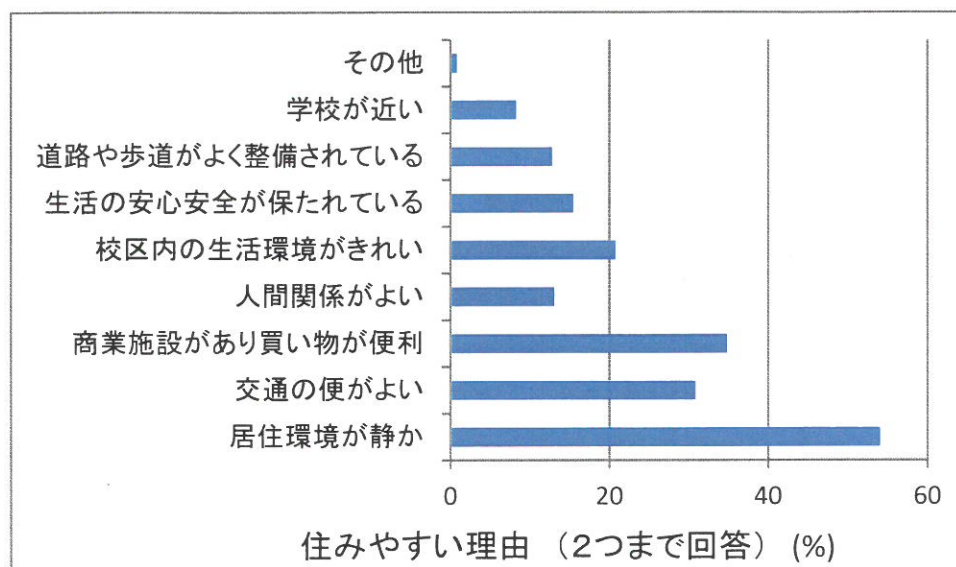


3 校区の居住環境について

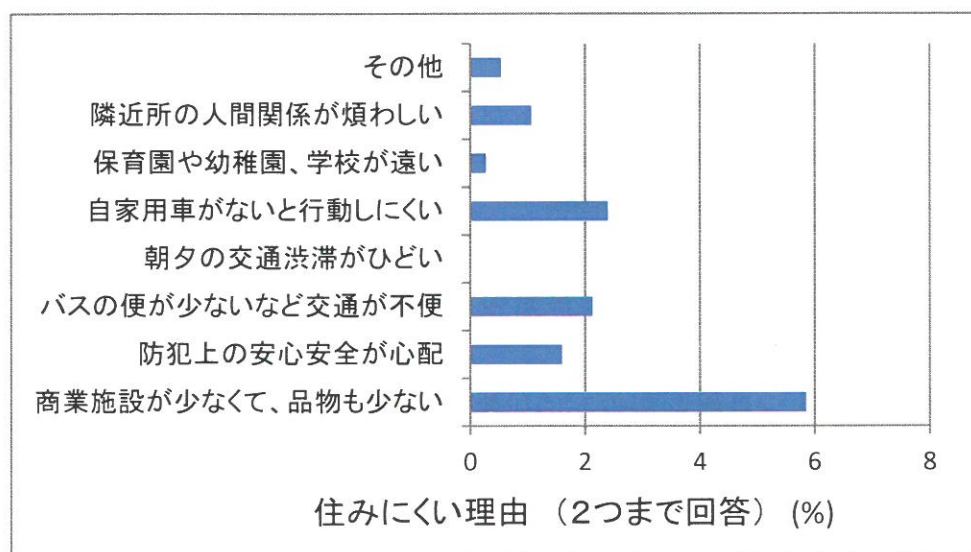
(1) 校区の居住環境についてどう思いますか。



(2)「とても住みやすい」、「住みやすい」の理由を教えてください。

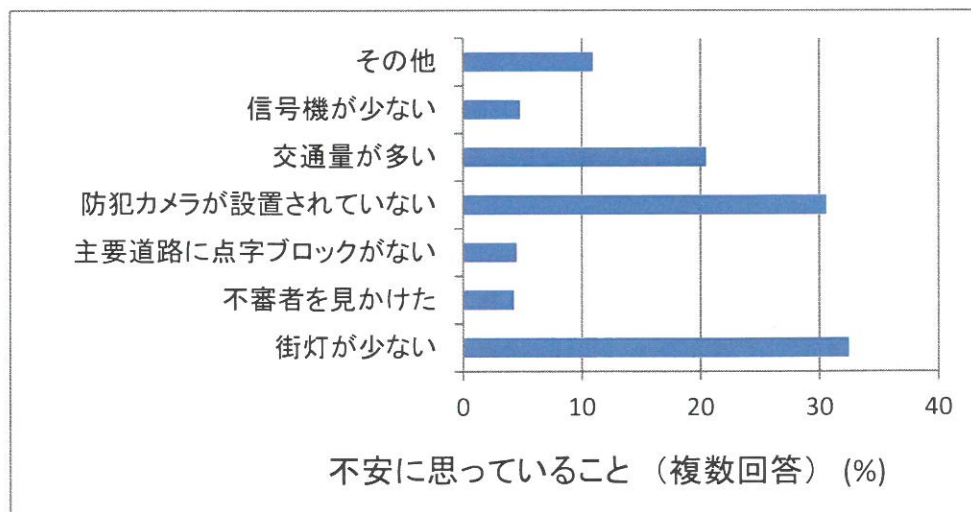


(3)「少し住みにくい」、「とても住みにくい」の理由を教えてください。

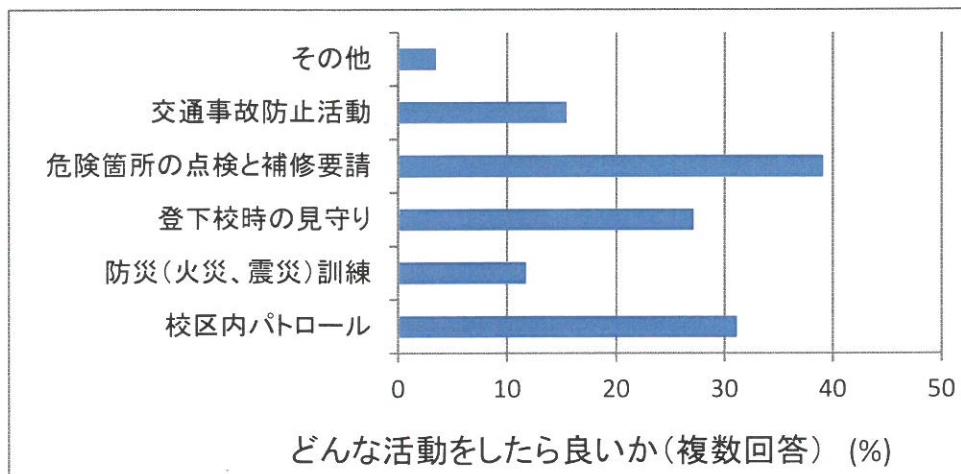


4 安心・安全について

(1)不安に思っていることは何ですか。

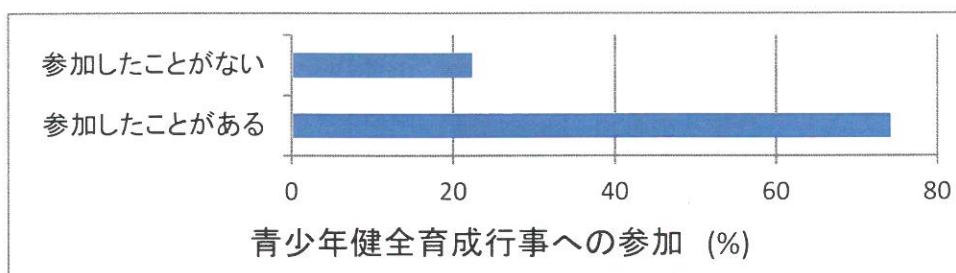


(2) 安心・安全のためにどんな活動をしたら良いと思いますか。

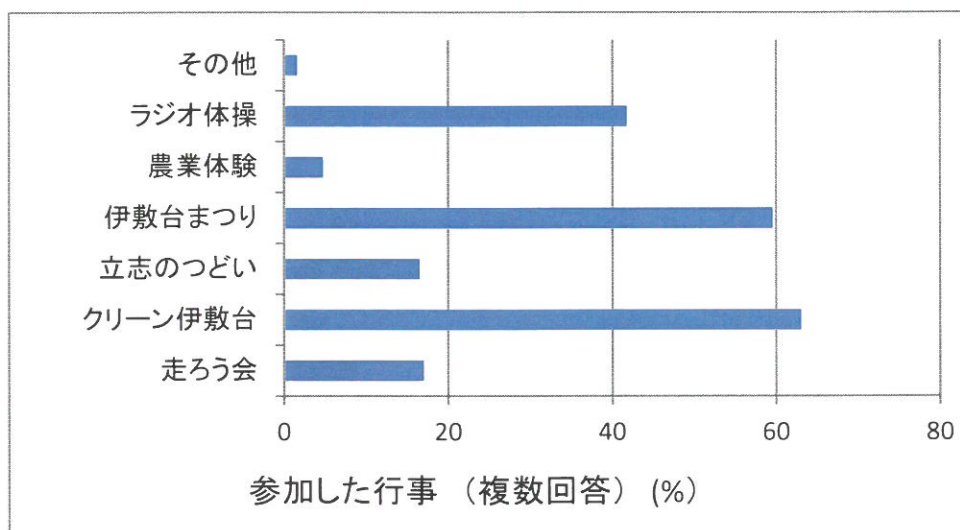


5 青少年健全育成について

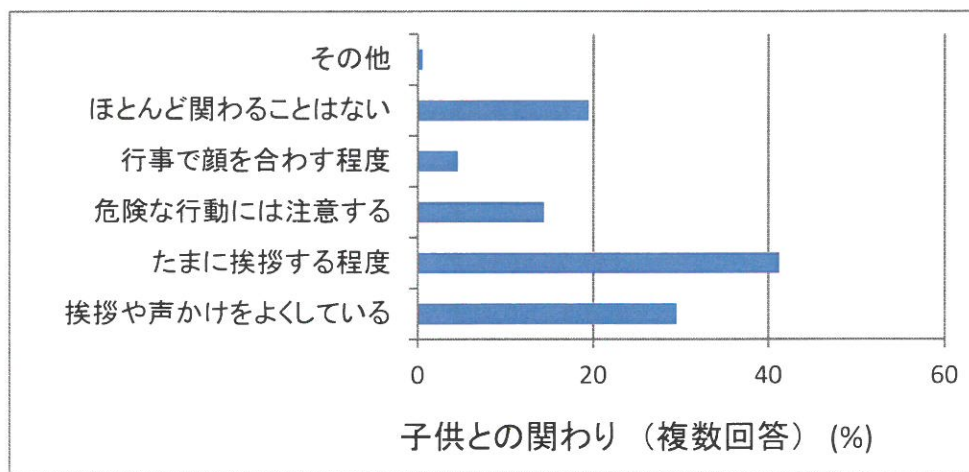
(1) 地域の青少年健全育成行事に参加したことがありますか。



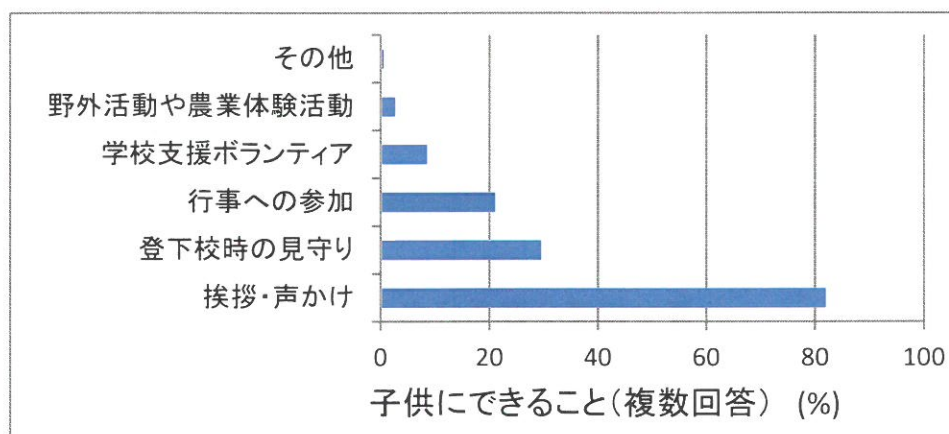
どの行事に参加したことがありますか。



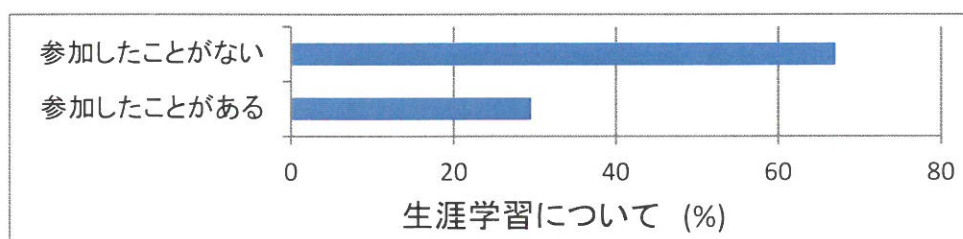
(2) 日頃、子供たちとどんな関わりを持っていますか。



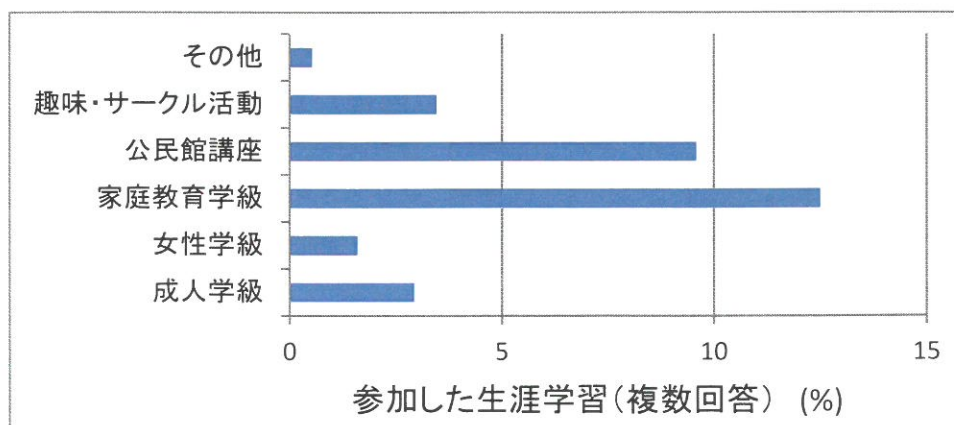
(3) 校区の子供たちのためにできることは何ですか。



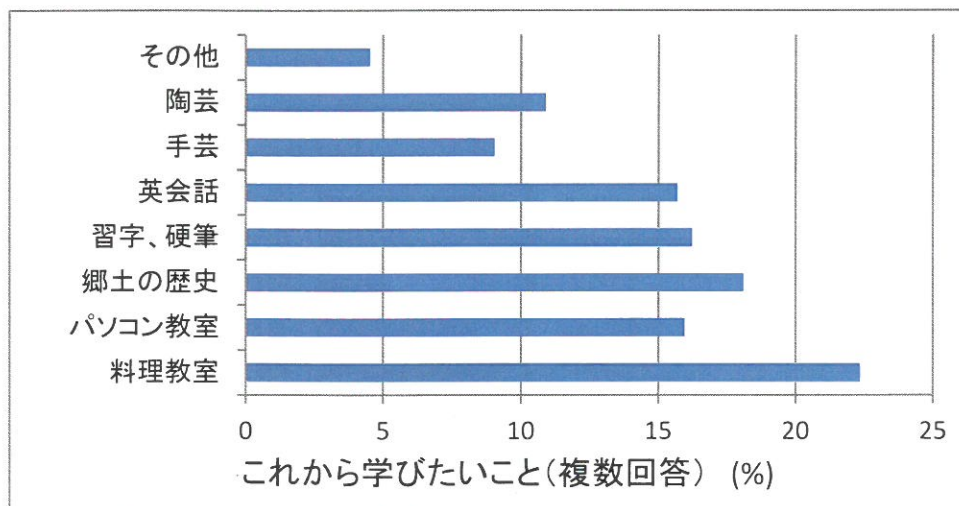
6 生涯学習について



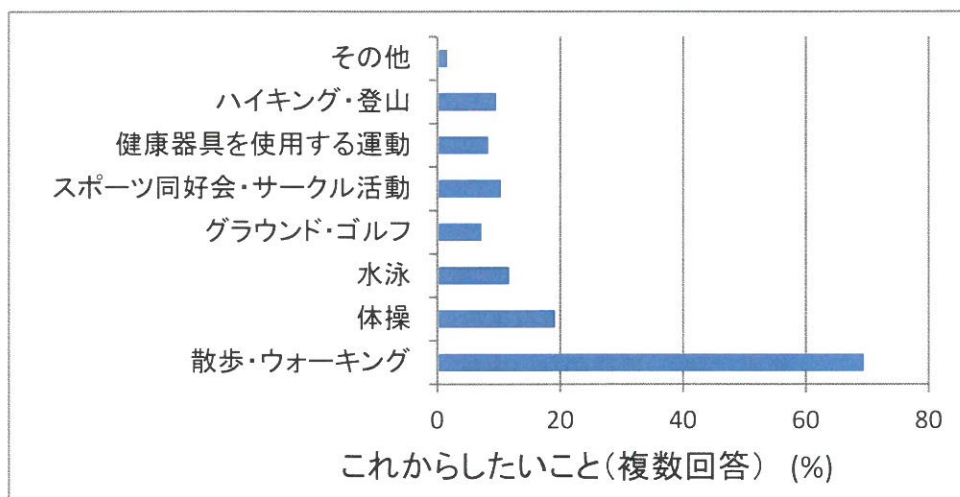
(1) どの行事に参加されましたか。



(2)これから何を学んでみたいですか。

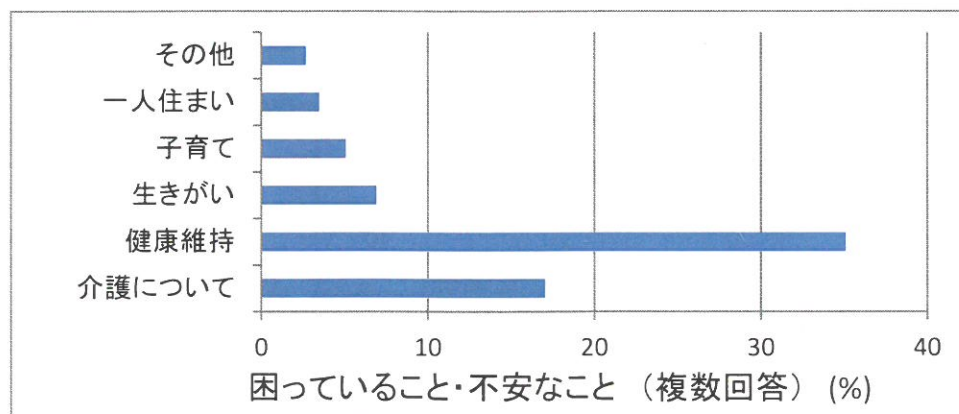


7 健康・体力づくりのために何をしたいですか。

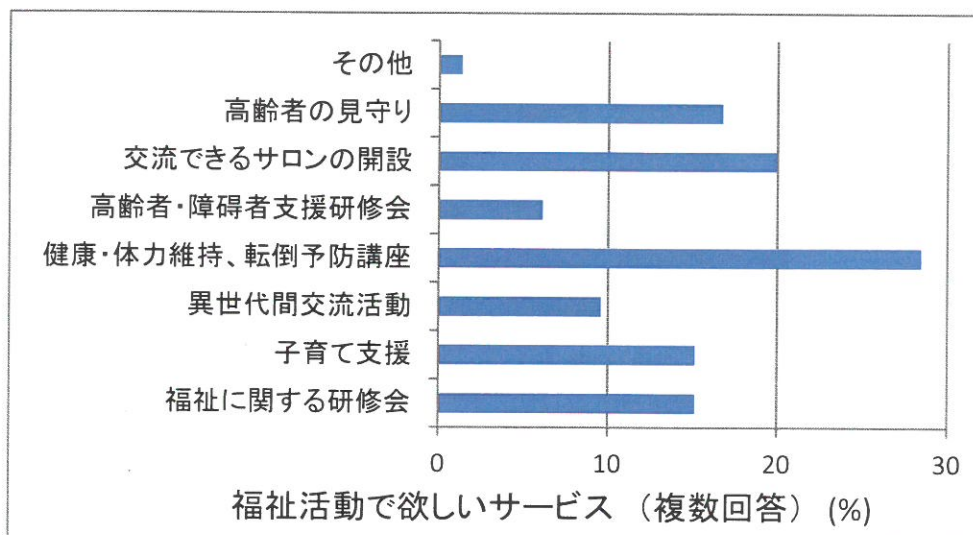


8 福祉のまちづくりについて

(1)現在、あなたが日常生活や福祉のことで困っていること、不安なことは何ですか。

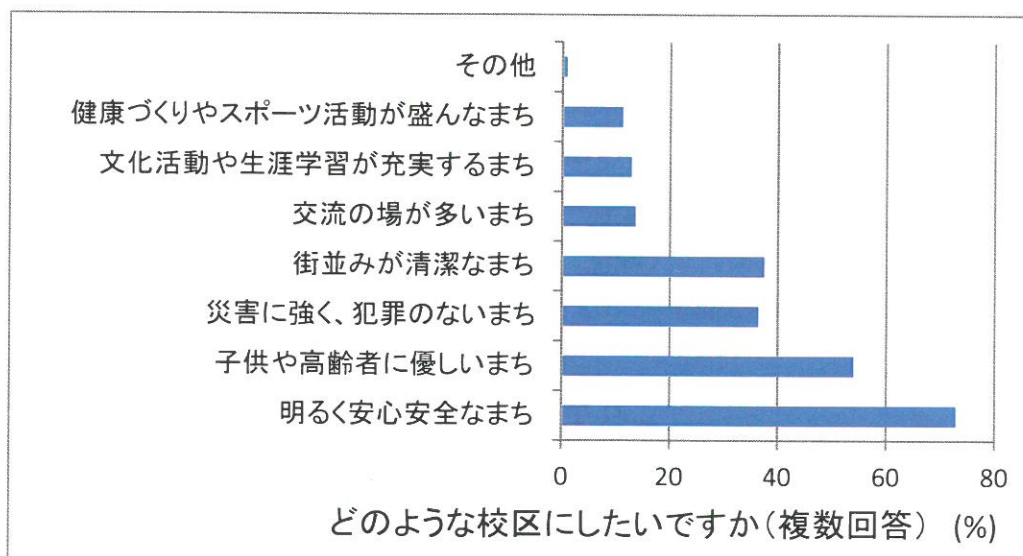


(2)福祉活動で、あったらいいなと思うサービスや活動は何ですか。

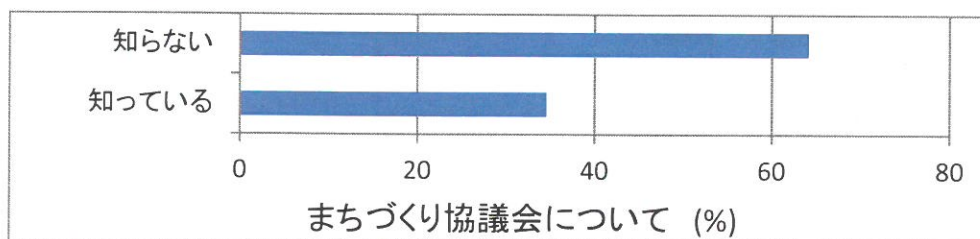


9 伊敷台校区のまちづくりについて

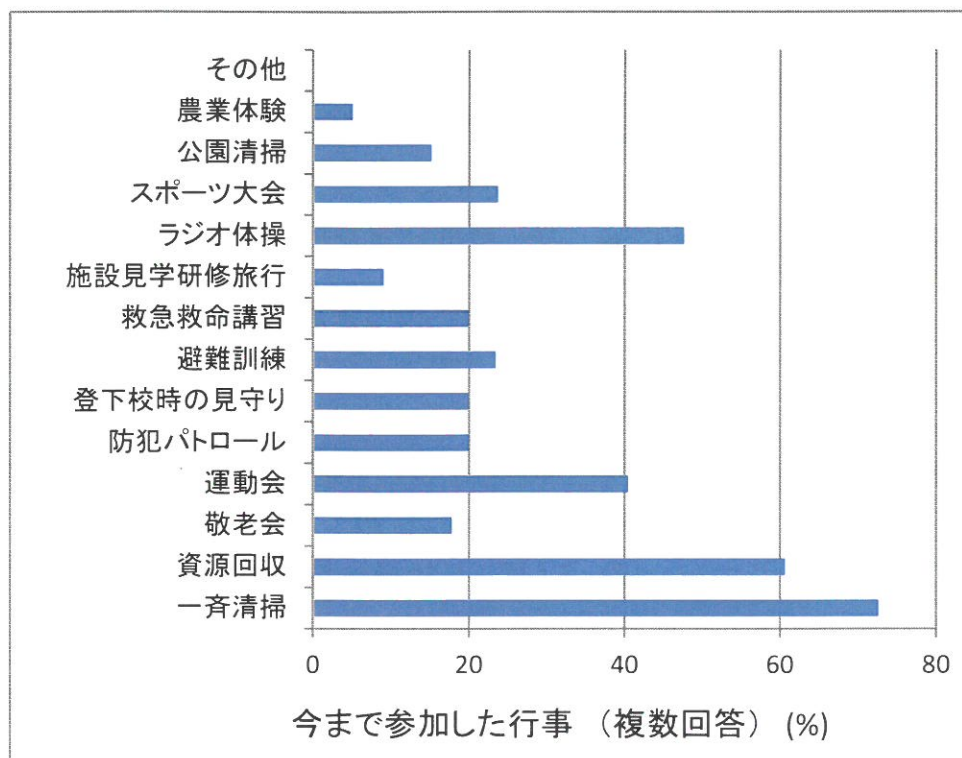
(1)今後、どのような校区になって欲しいと思いますか。



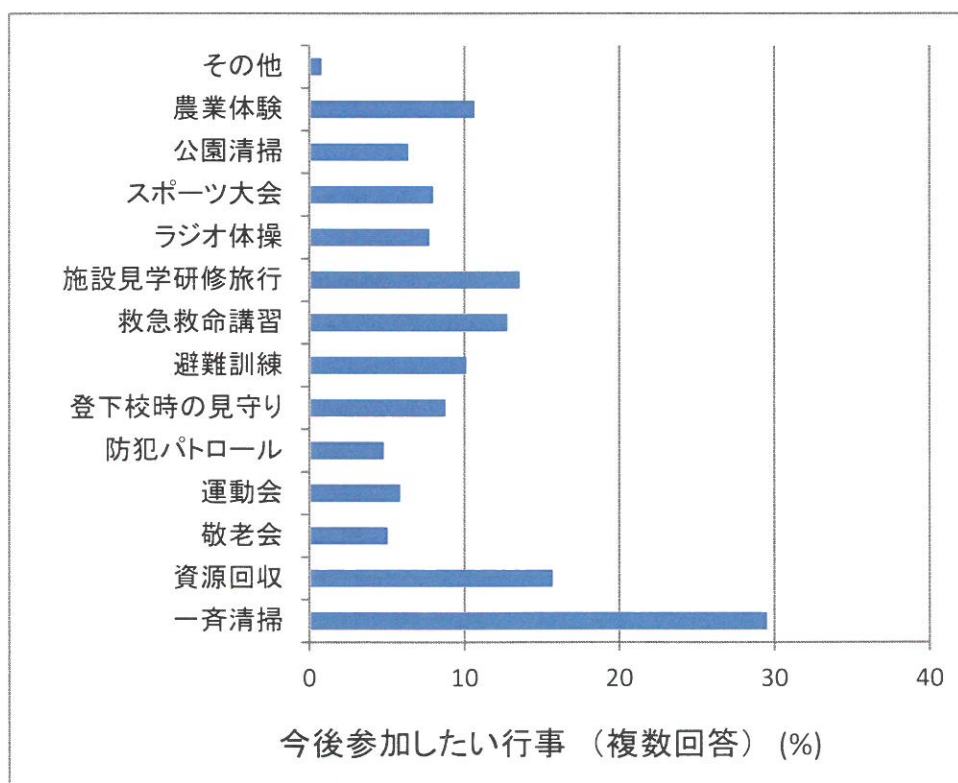
10 「夢の里まちづくり協議会」という団体を知っていますか。



11 今までに校区のまちづくりに関する活動・行事に参加したことがありますか。



12 今後、参加してみたい行事・活動はありますか。



【イ】 中学生対象（2年生）

アンケート調査の概要

1. 調査の目的

中学生は「夢の里まちづくり協議会」をどのように考えているか知るためにこの調査を実施しました。

2. 調査内容

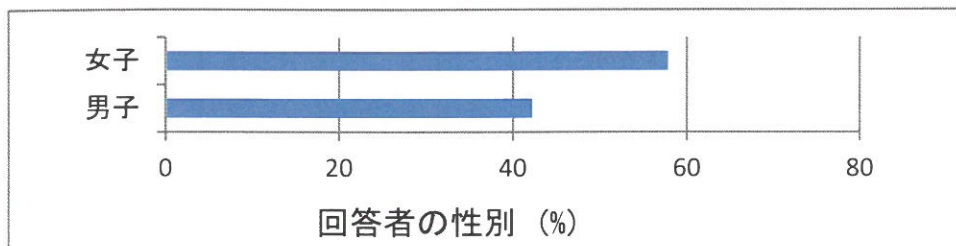
15 項目（複数回答あり）

3. 調査方法及び対象者

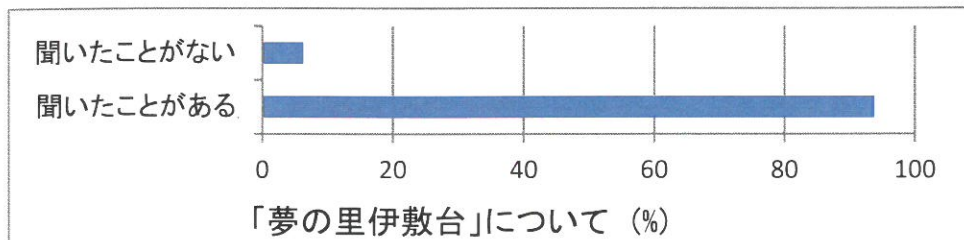
- ① 中学2年生
- ② 個人（記入式）
- ③ 人数 66 人（男 28・女 38）

中学生のアンケートの結果

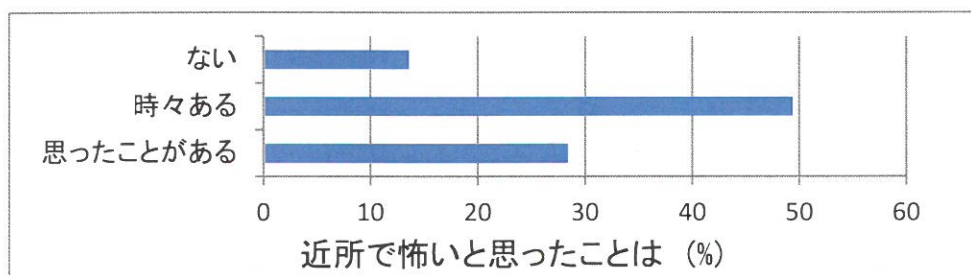
1 あなたは男子ですか。女子ですか。



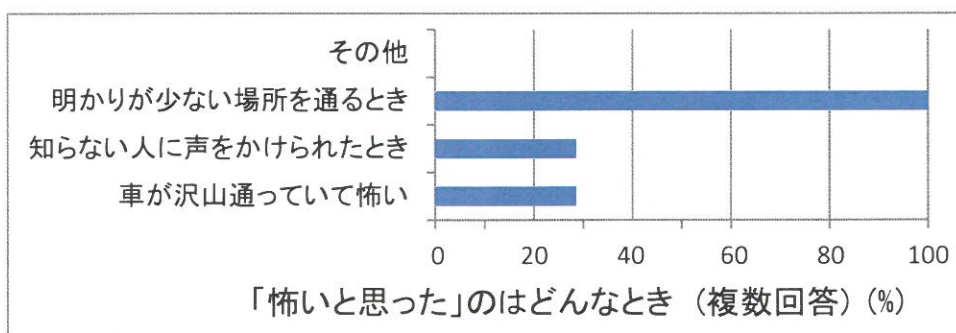
2 あなたは「夢の里伊敷台」という言葉を聞いたことがありますか。



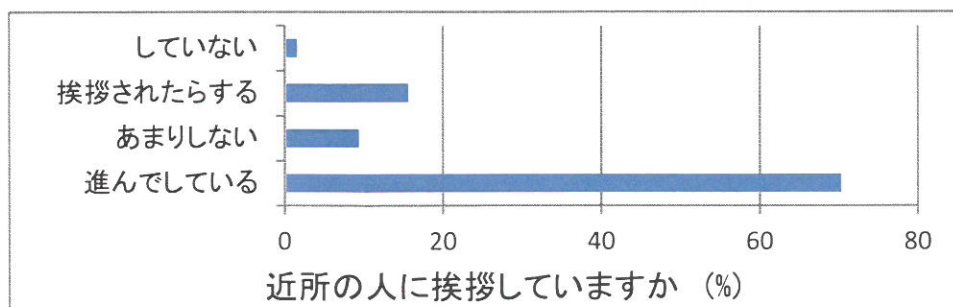
3 学校への登下校や近所で遊んでいるときに怖いと思ったことがありますか



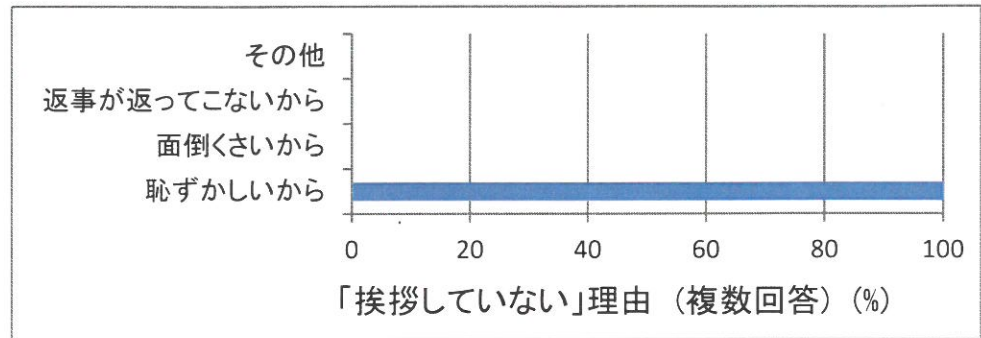
4 設問3で「怖いと思った」、「ときどき思った」人はどんなときでしたか。



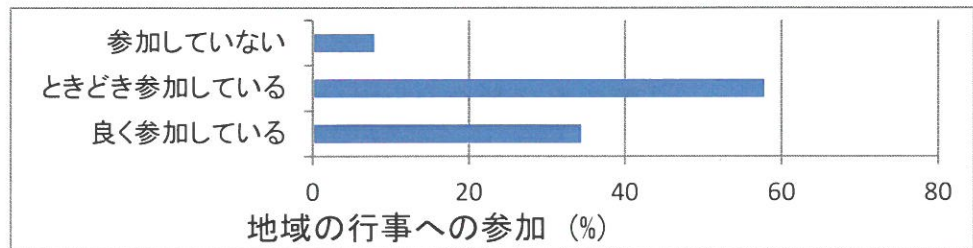
5 普段、近所の人に挨拶していますか。



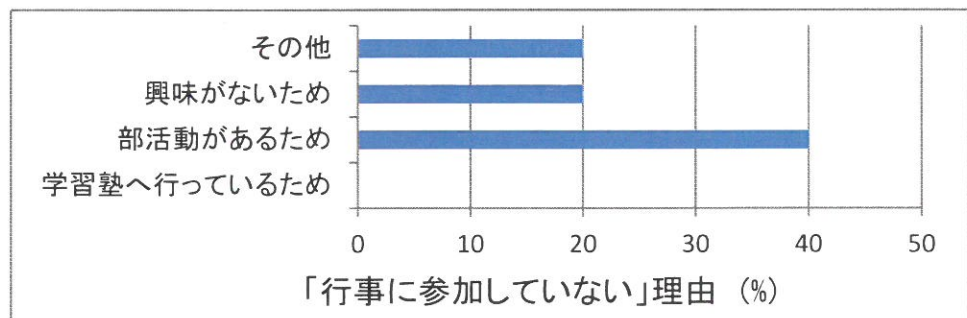
6 設問5で「挨拶してしない」理由は何ですか



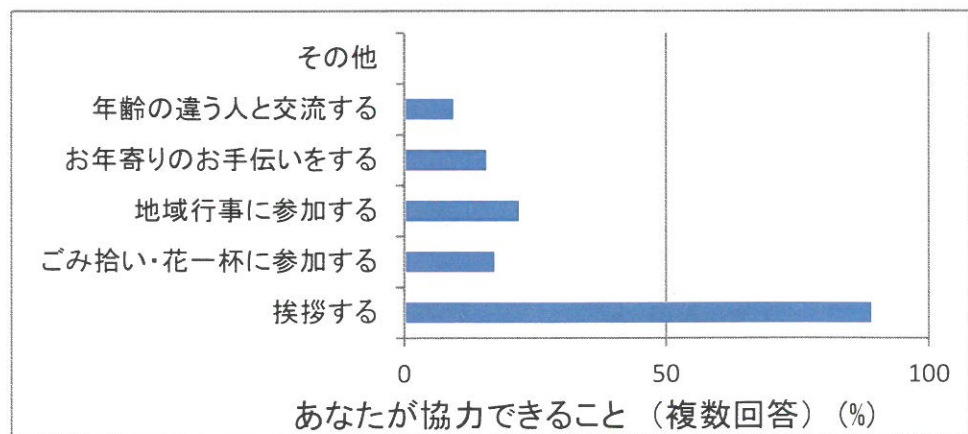
7 伊敷台では、お祭りや文化祭や十五夜行事など色々な地域の行事がありますが、それらの行事に参加していますか。



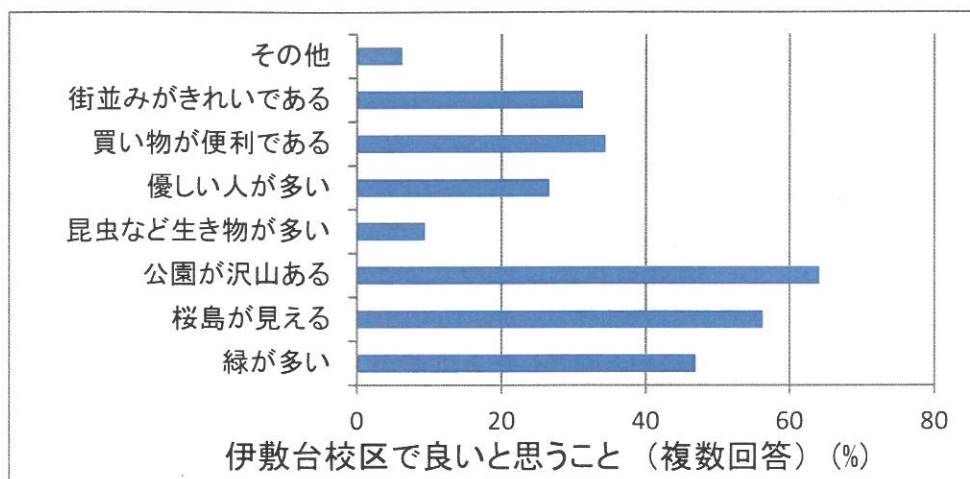
8 設問7で「参加していない」理由は何ですか。



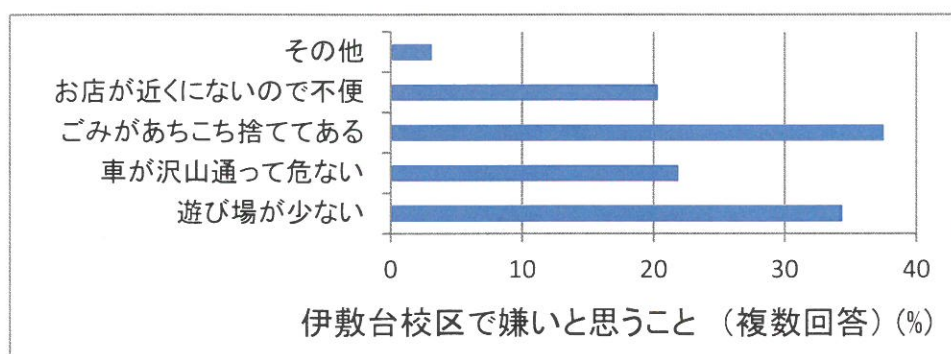
9 伊敷台校区を住みやすい校区にするために、あなたが協力できるとすれば、どのようなことに協力したいと思いますか。



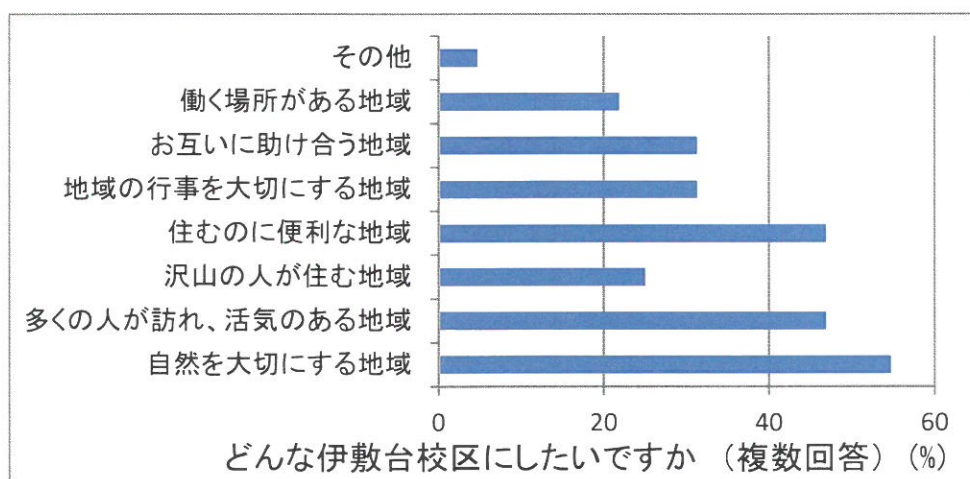
10 現在の伊敷台校区で良いと思うことは何ですか。



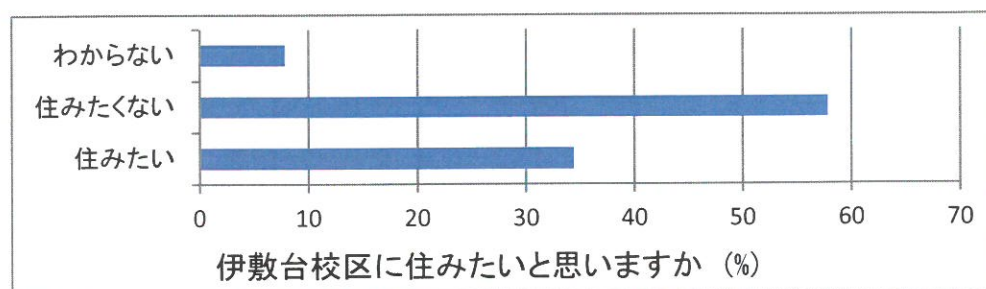
11 現在の伊敷台校区で嫌いと思うことは何ですか。



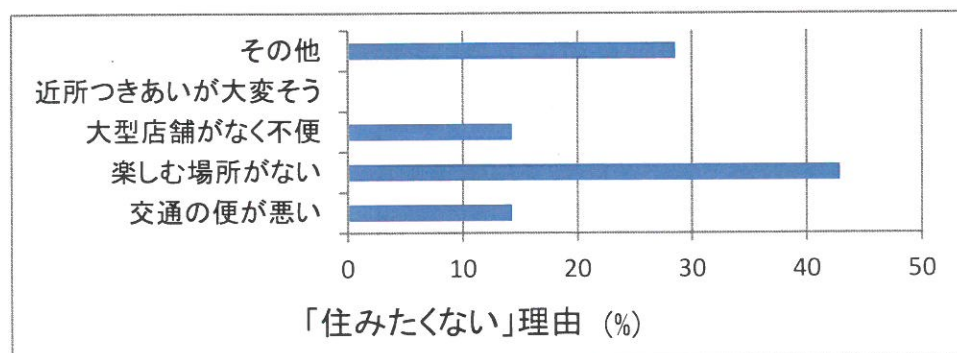
12 将来、伊敷台校区をどんな地域にしたいですか。



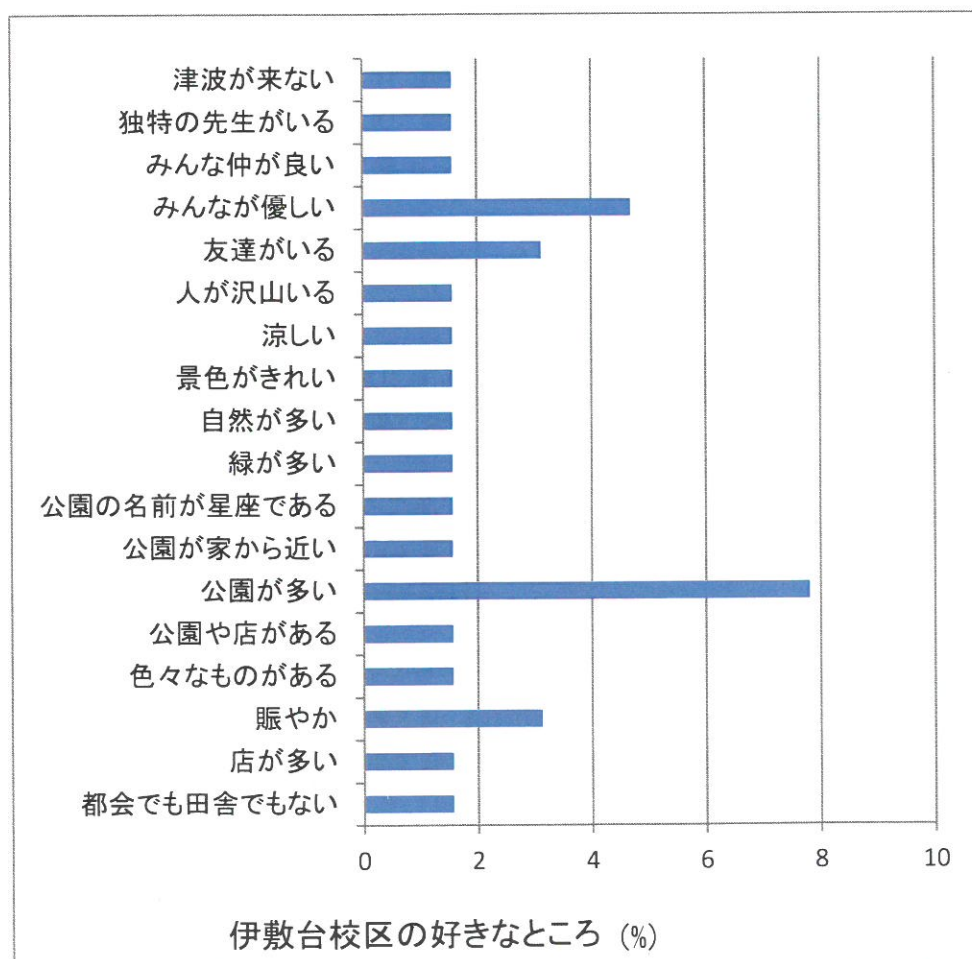
13 大人になったとき、伊敷台校区に住みたいと思いますか。



14 設問13で、「住みたくない」と回答した人はどうしてですか。



15 伊敷台校区の「ここが好き」なことがあったら教えてください。



【ウ】 小学生対象（５年生）

アンケート調査の概要

1. 調査の目的

小学生に自分たちの住んでいる伊敷台をどのように考え、またどのような行動をとっているかを知るためにこの調査を実施しました。

2. 調査内容

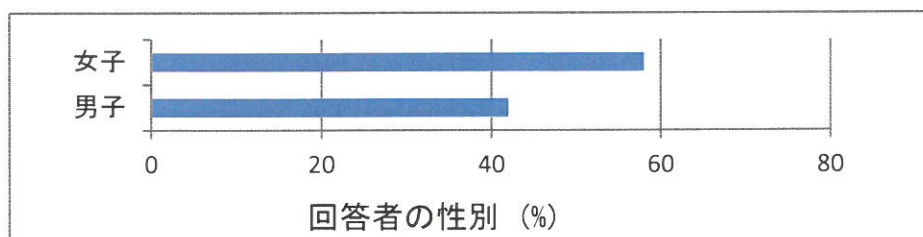
８項目（複数回答あり）

3. 調査方法及び対象者

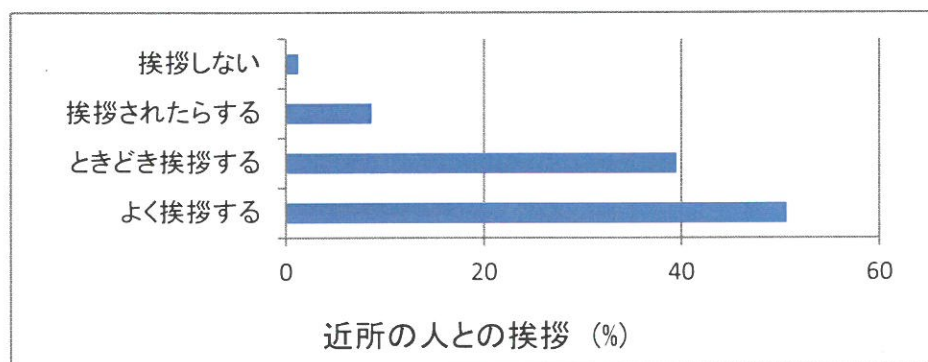
- ① 調査方法 個人
- ② 対象者 小学５年生
- ③ 人数 81 人（男 34 ・ 女 47）

小学生のアンケートの結果

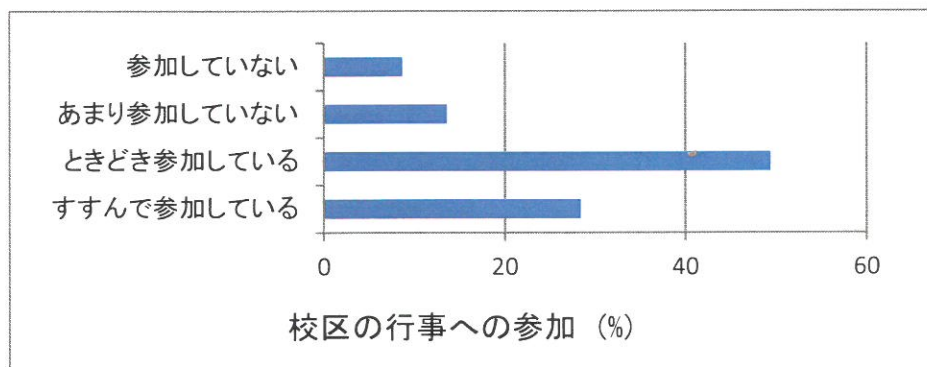
1 あなたは男子ですか。女子ですか。



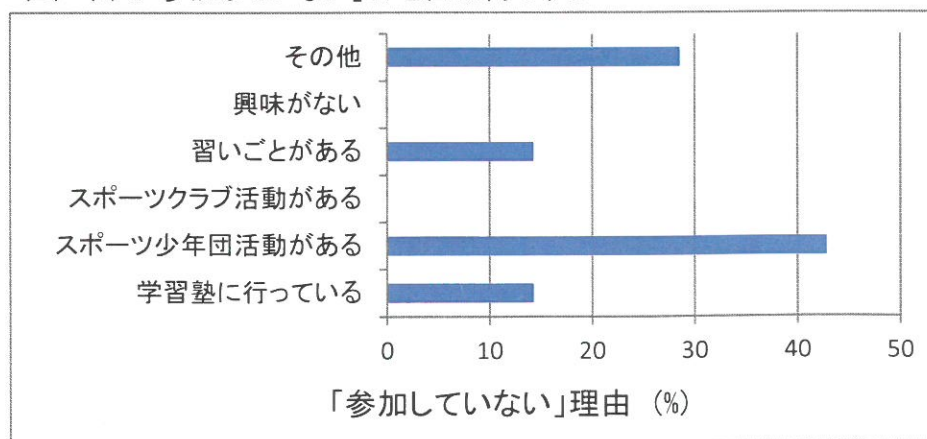
2 あなたは近所の人と挨拶をしていますか。



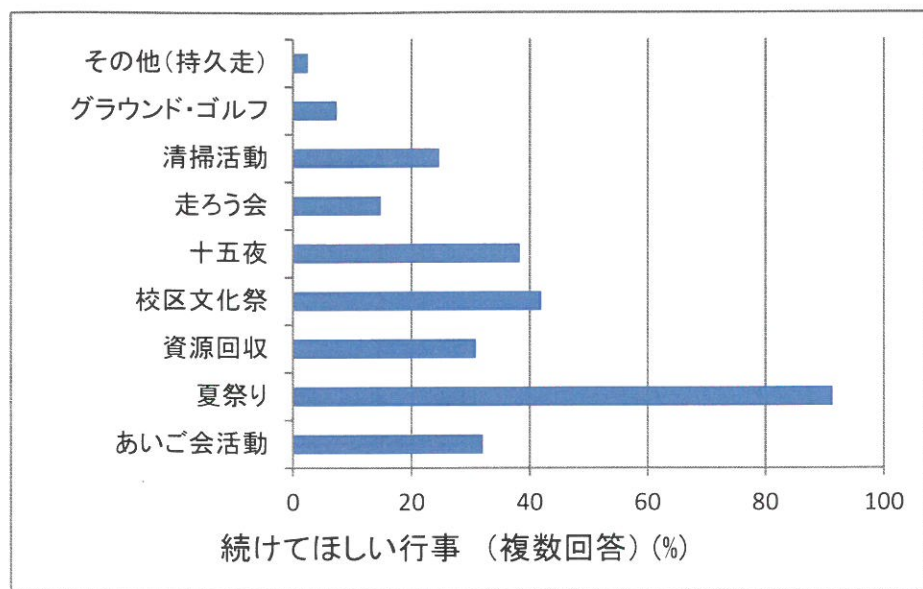
3 あいご活動や校区の行事・PTA活動について
(1) 参加について



(2) (1)で「参加していない」の理由は何ですか

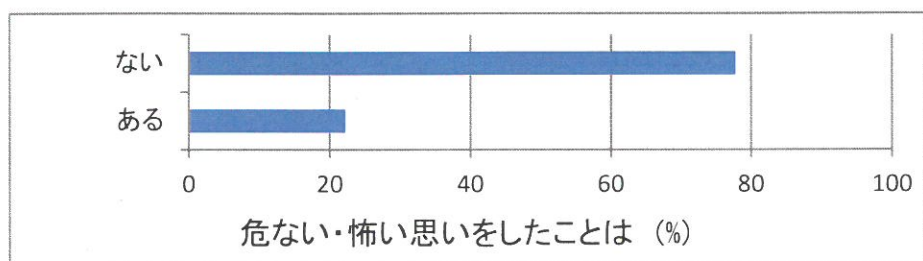


4 続けてほしい行事は何ですか。

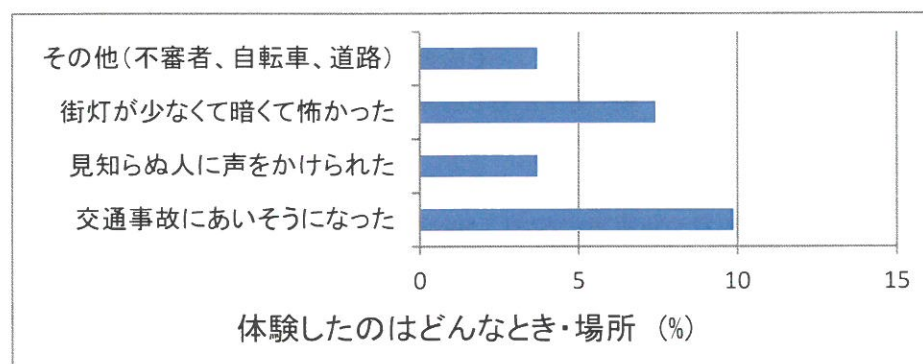


5 校区内で危ない・怖い思いをしたことについて

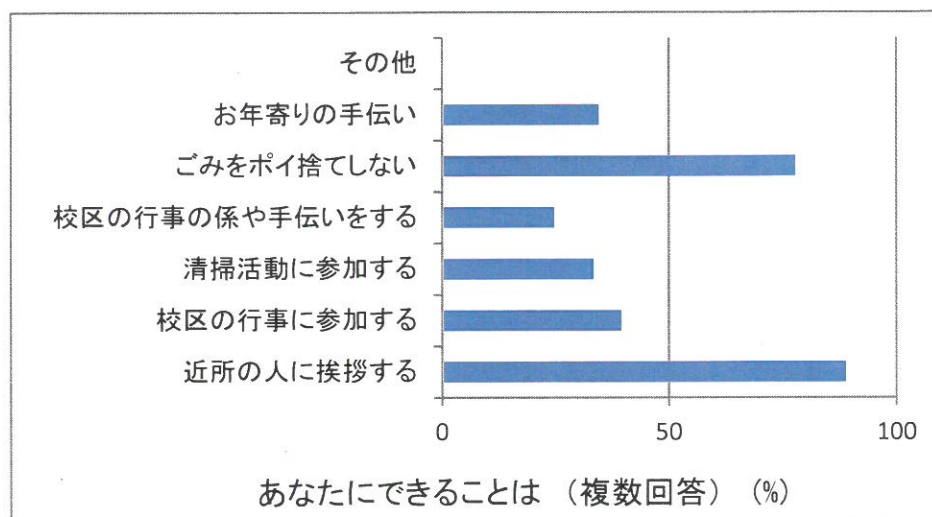
(1) 危ない・怖い思いをしたことがありますか。



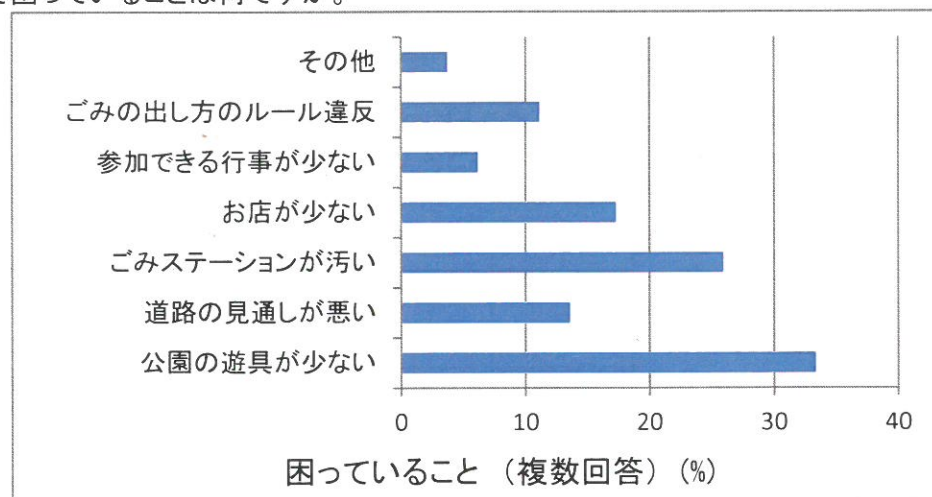
(2) 危ない・怖い思いをしたのはどんなとき・どんな場所でしたか。



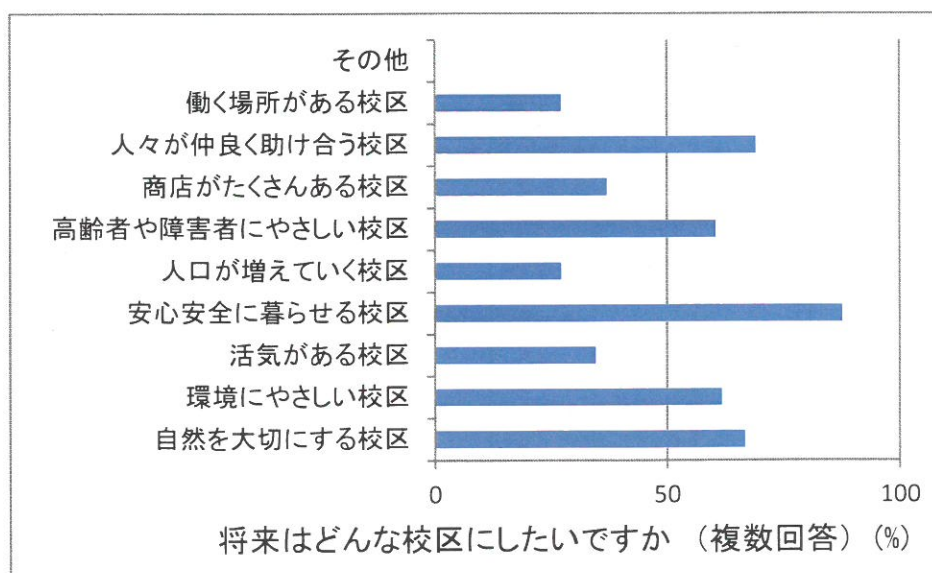
6 校区のためにあなたにできることは何ですか。



7 校区で困っていることは何ですか。



8 将来どんな校区にしたいですか。



(2) プラン策定委員

	役 職 等	氏 名
1	伊敷台校区夢の里まちづくり協議会 会長	森谷 國男
2	〃 副会長・福祉部会長	松村 和雄
3	〃 会計・社会教育部会長	三原美智子
4	〃 総務部会長	坂口 良明
5	〃 社会体育部会長	新名主由美
6	〃 青少年育成部会長	井出 俊郎
7	〃 安心安全部会長	折口 良弘
8	伊敷ニュータウンひがし台町内会会長	益田 有宏
9	伊敷台校区夢の里まちづくり協議会 事務局職員	中山 紀男
10	〃 〃	中水流清子

(3) わたしたちの校区

